

平成 24 年 2 月 16 日  
財団法人原子力研究バックエンド推進センター

「低レベル放射性廃棄物の放射能濃度評価方法開発」成果報告会  
開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当センターの業務につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当センターでは、ウランで汚染された廃棄物の放射能濃度の効率的・合理的な評価方法の開発を行い、研究施設等廃棄物の処理・処分事業の効率化・合理化に資することを目的に、文部科学省の委託業務として平成 21 年度から平成 23 年度までの 3 ヶ年にわたり「低レベル放射性廃棄物の放射能濃度評価方法開発」を進めてまいりました。

開発した評価手法の特徴は、市販の Ge 半導体計測装置を用い、廃棄物中の線源分布・密度分布によらないガンマ線計数率と放射能との一義的な関係を用いてドラム缶内のウラン量 (U-238) を評価することにあります。

このたび、全国の大学・民間等のウラン廃棄物の発生事業者を対象に下記の通り、本開発の成果報告会を開催いたします。また、合わせて放射能濃度測定の実況について原子力機構から、参考事例としてクリアランスに向けた取組状況について新金属協会殿からご講演をいただくこととなっております。

つきましては、年度末のお忙しい時期とは存じますが、ぜひご参加のほどお願い申し上げます。なお、ご参加に当たりましては、下記担当者まで3 月 9 日 (金) までに Eメールにてご氏名・ご所属・ご連絡先をお知らせいただければと存じます。

敬 具

記

開催日時：平成 24 年 3 月 16 日 (金) 14:00~16:30

開催場所：虎ノ門ツインビルディング (旧：新日鉱ビル) 地下 1 階 大会議室

(会場地図・アクセスはこちらをご参照ください：

<http://www.bmt-group.co.jp/toranomon/access.html>)

担当者：物流システム事業準備室 技術部 部長 室井正行 [m-muroi@randec.or.jp](mailto:m-muroi@randec.or.jp)

課長 鈴木康夫 [y-suzuki@randec.or.jp](mailto:y-suzuki@randec.or.jp)

以上